

福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館 (1/2)

眠りから覚めた戦国城下町一乗谷の
発掘調査・整備・研究・展示をしています

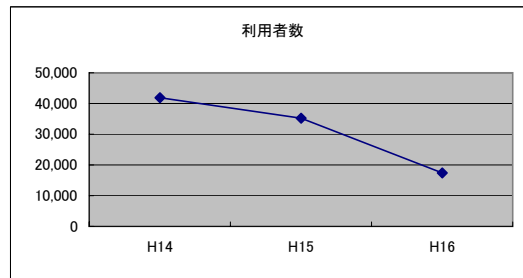
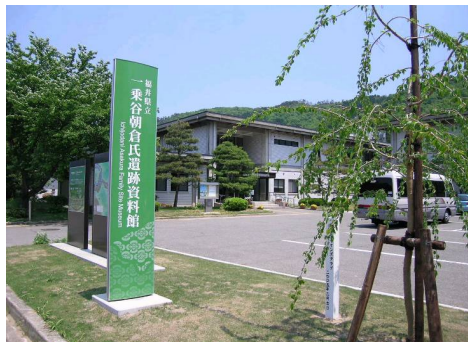
所在地	福井市安波賀町4-10		
設置年月日	昭和56年8月20日		
施設の種類	博物館	施設管理主体	県
設置の目的	特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡に関する資料の収集、保管および展示等を行うとともに、遺跡の発掘調査、整備、研究等を実施し、県民の文化の向上に寄与する。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造 一部2階建 延面積 2,052㎡ 展示室・講堂 出土遺物約160万点収蔵		
職員数	正職員7人、非常勤嘱託3人 アルバイト2人 計12人		

利用状況等

	H14	H15	H16
利用者数(人)	41,843	35,212	17,354

利用者負担(利用料金)等 単位:円

入館料	常設展	100
	特別展	400・300・200
団体	2割引	



利用状況の 推移	平成14年度は大河ドラマ「利家とまつ」、永平寺大遠忌などの影響により、近年にない4万2千人の来館がありました。
	平成15年度は3万5千人が来館し、対前年比約16%減となりました。
	平成16年度は、福井豪雨(16年7月18日)の被災により、来館者数は1万7千人と大幅に減少しました。(16年7月18日から9月30日まで休館、10月1日から仮オープン、17年1月3日から本格オープン)

16年度の特徴について

事業実績	福井豪雨災害復旧事業
	・朝倉館地区園路、南陽寺跡等の遺跡内の復旧事業の実施、資料館施設・設備の修繕 常設展示等
	・「豪雨被災・仮復旧と遺跡38年の調査成果」展(10/11~2/12) ・本格オープン記念「優品コーナー」(1/3~2/8) ・移動企画展(8/2~15・小浜市で開催)
	誘客・集客対策
	・福井市の復原町並との共通観覧券販売開始 ・観光商談会でのPR
	地元等との連携・協力
	・朝倉氏遺跡保存協会等との共催事業開催、 エントランスホールの無料提供(絵画展)
	研究成果等の発表
	・遺跡見学会、講座、講演会の実施

特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡の活用

貴重な歴史的遺産である朝倉氏遺跡の保存を図るとともに地域住民、観光等関係団体、行政機関の連携により、遺跡とその周辺地域について観光振興およびイメージアップへの活用を推進することを目的として「一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会」を設立し、平成16年度は共通観覧券・朝倉いっぶく茶の販売等の事業を実施しました。

	16年度	17年度(12月末)
〈販売実績〉		
共通観覧券	5,566	6,644
朝倉いっぶく茶	3,385	6,126

特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡の発掘調査・整備のスピードアップと魅力の向上

平成17年度から一乗谷朝倉氏遺跡整備・活用新10か年計画をスタートさせ、遺跡の発掘整備の促進を図る事としました。特に山城の発掘整備や出土品の重要文化財指定に取り組む計画です。



観光との連携

県観光連盟と連携し高松・岡山・神戸・名古屋で旅行代理店等に対し誘客のためのPRをしました。韓国等の旅行エージェンツの取材に協力し、海外に向けて福井をアピールしました。

福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館(2/2)

行政コスト計算書(平成16年度) (単位 千円)

		総額	構成比
人にかかるコスト	人件費	76,016	61.9%
	退職給与引当金繰入	▲ 1,968	-1.6%
	計	74,048	60.3%
物にかかるコスト	物件費	20,438	16.7%
	維持補修費	16,530	13.5%
	減価償却費	11,321	9.2%
	計	48,289	39.4%
その他	公債費(利子)	0	0.0%
	その他	379	0.3%
	計	379	0.3%
合計		122,716	100.0%

バランスシート(平成17年3月31日現在) (単位 千円)

借方		貸方	
資産		負債	
有形固定資産	416,859	固定負債	93,020
投資等	0	流動負債	0
流動資産	0	正味資産	323,839
計	416,859	計	416,859

朝倉義景館跡全景(南から)



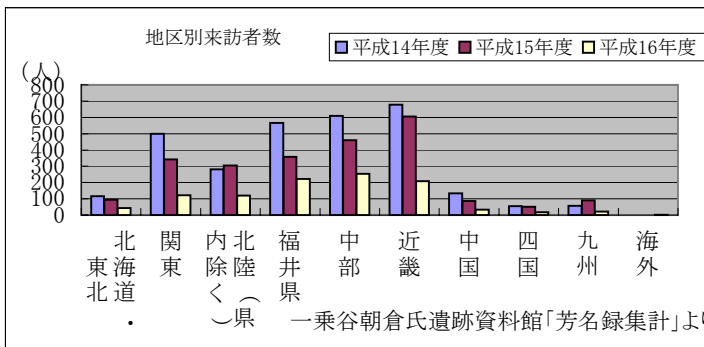
施設の特徴	<p>特別史跡・特別名勝一乗谷朝倉氏遺跡の発掘・調査・整備・研究を実施するとともにその研究成果を発表・展示しています。</p> <p>先駆的な大規模遺跡として全国的に注目を集めています。</p> <p>福井県の知名度アップや集客力の向上に寄与しています。</p> <p>県民の郷土に対する理解を深め、他県に対して誇りとなっています。</p>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・遺跡の発掘・整備を促進し、観光資源としてより以上の活用推進を図る。 ・出土品の重要文化財指定など展示レベルの向上を図る。 ・新規来館者確保のための情報発信

(単位 千円)

収入			
収入	利用料等収入	834	0.7%
	その他収入	2,631	2.1%
	一般財源	119,251	97.2%

利用料等収入計	834,000 円
利用者1人あたり平均利用料	48 円
利用者1人あたりコスト	7,071 円

利用者1人あたりのコスト負担の状況



年間入館者
 14年度 41,843人
 15年度 35,212人
 16年度 17,354人

<p>バランスシート、行政コスト計算書の特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の設置が昭和56年度と古く、減価償却費の割合は低くなっています。 ・人にかかるコストの割合が多いのは、朝倉氏遺跡の発掘整備に従事する専門職員の人件費が含まれているためです。 ・有形固定資産の89%、約3億7千万円は建物と土地に対するもので、収蔵数約160万点の出土遺物は有形固定資産には含まれていません。 ・利用者1人あたりの平均利用料は、常設展観覧料が無料の高齢者および高校生以下の人数が多いため、低額(48円)となっています。 ・福井豪雨に被災し休館したため、利用料等収入が少なくなっており、また、利用者1人コストも高くなっています。
----------------------------	--

<p>今後の事業方針</p>	<p>一乗谷朝倉氏遺跡新10か年整備・活用計画(平成17年度~26年度)に基づき、遺跡の着実な整備・活用を推進します。</p> <p>未調査地の試掘調査、遊歩道沿いや山城の発掘調査 発掘調査済み地区の平面復元・立体復元整備 出土遺物の重要文化財指定に向けた取り組み 体感出来る遺跡、魅力ある遺跡の実現</p>
<p>取り組み内容</p>	<p>重要文化財指定に向けたリストを作成中です。</p> <p>発掘現場を見てもらうための安全柵・通路を設置しました。</p> <p>企画展「花咲く城下町一乗谷」を開催しています。</p> <p>当館利用の旅行者をリストアップし行事案内を送付しています。</p>